

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	4071602330		
法人名	大成産業株式会社		
事業所名	グループホーム いちょうの杜 合川		
所在地 (電話番号)	久留米市合川町1392-1 (電話) 0942-45-8505		
評価機関名	財団法人 福岡県メディカルセンター		
所在地	福岡市博多区博多駅南2丁目9番30号		
訪問調査日	平成19年11月19日	評価確定日	平成19年12月26日

【情報提供票より】(19年10月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成17年4月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	13 人	常勤11人, 非常勤2人, 常勤換算11人	

(2) 建物概要

建物形態	併設/単独	新築/改築
建物構造	鉄骨 造り	
	2 階建ての 1 階 ~ 2 階部分	

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	39,000 円	その他の経費(月額)	実費	
敷金	有(円)	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有 (100,000 円)	有りの場合 償却の有無	有/無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり	1,200 円		

(4) 利用者の概要 (10月1日現在)

利用者人数	18 名	男性	4 名	女性	14 名
要介護1	3 名	要介護2	6 名		
要介護3	3 名	要介護4	5 名		
要介護5	1 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 82.2 歳	最低 68 歳	最高	107 歳	

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	齋藤医院 小坪内科 毛利歯科
---------	----------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

「受容・傾聴・共感」の理念のもと、入居者の人生の質を高めるため、努力、工夫を行っている。映画鑑賞や外食に連れ出したり、餅つきや魚をさばいて刺身でいただいたりするなど、介護する側が尻込みしそうな行事でも積極的に行っている。ホームでは看取りの介護にも積極的で、自宅で亡くなった家族を送り出すのと同様に行っており、家族から感謝されている。学習療法で脳の活性化にも効果を上げている。「自分の家族を入れたくなるようなホームに」「家族が見ている前では出来ないようなことは行わないこと」を念頭に、職員が皆、理念高く情熱を持って仕事に取り組んでいるホームである。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回指摘のあった身体拘束や衛生管理のマニュアル作成に取り組み、成年後見制度についての学習をして文献を揃えるなど、改善が見られる。利用者一人ひとりの記録は行われているが、計画についてはまだ不十分な点が見られる。利用者のための生きた計画が出来るよう、取り組んでいくことを期待する。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>職員全員で評価に関わり、改善していこうとする積極的な態度が見られる。職員の意識も高まり、環境も整えることが出来ている。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>運営推進会議は2ヶ月に1度行われ、議事録も残されている。会議を通して地域との関わりが深まり、年間行事へも地域の方々の参加が見られる。市との連携も出来ており、市の窓口にホームのパンフレットを置くなどしている。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部8,9)</p> <p>入り口に意見箱を設置しているが今のところ利用はない。家族の来訪時は十分に会話をもち、定期的に便りを送り、近況を報告している。家族からの要望、意見には真摯に耳を傾け対応している。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>ホームの行事に地域住民の参加があり、ホームも地域のお祭りに参加したり、ごみ出し当番などの役割を行っている。子供みこしなどでは、子供たちと利用者のふれあいや持たれ、認知症が進んだ方でも普段は見せない優しい笑顔を見せるなど新しい発見がある。</p>

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	心豊かな生活のために、受容・傾聴・共感の理念を掲げ、一人ひとりのバックグラウンドを大切に支援の実践に向けて取り組んでいる。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念は目に付くところに掲示され、管理者より意味や実践に向けての話がなされている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会に加わり、リサイクルやゴミ出し当番などの役割を担っている。お祭りや、子供みこしなどにも参加し、地域とのふれあいに努めている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	外部評価のチェック項目は全員で検討し、改善すべきところは職員が積極的に環境整備を行うなど、評価を活かした取り組みをしている。		
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1度、運営推進会議を開き、地域との関わりを深め、会議での意見や提案された内容を活かしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	ホーム長が久留米市のグループホーム部会の事務局をしている関係で市との関わりも深く、毎日のように市に出向き話をする機会を持っている。		
7	10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるように支援している	実際に該当者が発生しており、学ぶ機会を持っている。また、資料なども常備している。		
4. 理念を実践するための体制					
8	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族の来所時は声かけをし、近況を報告している。緊急時はそのつど、それ以外でも月に1度は便り(新聞)と請求書を郵送している。		
9	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	入り口に意見箱を設置し、運営推進会議で意見の報告もしている。家族が来所された時は、職員との十分な会話がなされている。		
10	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の退職時は、利用者一人ひとりに声かけをしてお別れをするなど配慮している。今のところ退職に対する混乱は見られない。		
5. 人材の育成と支援					
11	19	人権の尊重 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。 また、事業所で働く職員についても、その能力を發揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している	採用に対しては年齢、性別での区別はなく、採用後の研修や資格取得のためのバックアップもしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
12	20	人権教育・啓発活動 法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる	常に、「自分の家族を入りたいホームであるか、家族が見ていても出来る行動をしているか」ということを職員が念頭に置き、仕事に誇りをもてるよう、教育に取り組んでいる。		
13	21	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修を受ける機会を多く設け、勤務扱いで参加している。		
14	22	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	久留米市内のグループホームで部会を設立し、その事務局を担い学習会や交流会などの積極的な活動をしている。		
・安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
15	28	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	体験入所で様子を見たり、三ヶ月間は退所の際入居一時金を全額返金したりするなど、慣れるまでの支援をしている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
16	29	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者一人ひとりのバックグラウンドを念頭に置き、共に活動し、喜びを共感していく中で支えあう関係が出来ている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1.一人ひとりの把握					
17	35	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者の希望などは会話を重ねることにより把握に努めている。困難な場合は表情からその意向を汲み取っている。		
2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
18	38	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	介護計画は、利用者一人ひとりについて作成されているが、計画の話し合いなどが十分ではない。		介護計画は、定期的あるいは必要時に本人・家族・職員の十分な話し合いのなかで作成されることが望まれる。
19	39	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画は利用者のほとんどが同じ時期に作成されている。入居者に対する会議などは日常的に行われているが、介護計画の見直しに関する話し合いは少ない。		介護計画は、利用者の介護保険の有効期間を軸に作成し、適宜必要時の見直しをしていくことを期待する。
3.多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
20	41	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者の希望を汲み取り、映画鑑賞をしたり外食をしたりと柔軟な対応が出来ている。看取りの際は複数の家族が泊り込みで見守ることもある。		
4.本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働					
21	45	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	特にかかりつけ医の希望がない利用者は往診で対応するが、かかりつけ医がある場合や専門医への受診の際は看護師の職員が同行し、受診を支援している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
22	49	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	家族の希望による看取りの事例が複数あり、家庭的な見送りができるよう医師との連携をとりながら、職員一同で関わりあっている。		
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
23	52	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	記録は管理され、ざくばらんな会話の中にも職員が入居者に敬意をもって接している様子が見られるが、トイレの個室がドアでなくカーテンで仕切られている。		トイレの仕切りについてはドアに変えるか、希望者には職員用のドアつきトイレを解放するなどの工夫に期待する。
24	54	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者の希望に添った支援をしており、できるだけ対応するよう心がけている。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	56	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食に対しては大いにこだわり、おいしい食事を提供している。入居者の食べたいものをたずね、季節の食材で調理している。盛り付けや後片付けなどが出来る入居者は、職員の手伝いを一緒にしている。		
26	59	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は入居者の希望の時間に合わせて行っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	61	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	入居者の現役時代の呼び名で呼んだり、そのときの経験を活かした役割を分担している。職員は生活歴を把握しているが、記録が十分でない。		バックグラウンドについては記録を整備し、新規職員もスムーズに対応できるようにすることが望まれる。
28	63	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	買い物や、近隣への散歩はもちろん、映画や外食、遠方への外出も職員が支援している。居室内の閉じこもりを予防するため、テレビの持込を極力抑えるために電気代を徴収すると表記(実際は取っていない)するなど工夫をしている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
29	68	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	居室や玄関には鍵はかけられておらず、職員も鍵をかけないことの大切さを理解している。2階へ続く階段には膝よりやや高い仕切りと簡単な鍵がつけられている。		現在、2階には認知能力が低下した入居者が居り、止むを得ない状況もあるが、これを慣習化せず、よりよい方法の模索・工夫に期待したい。
30	73	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	避難訓練は行っており、避難場所の把握も出来ている。救命訓練については職員が個人的に受講している。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
31	79	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食べる量は記録し、個々に合わせて刻み食やおかゆなどで対応しているが、水分量は時間おきにお茶を与えるなどの決まりはあるが記録はしていない。		水分摂取量を記録し、管理する取り組みに期待したい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
32	83	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用の空間は音楽が流れ、明るく、居心地良い場所である。花や手作りのカレンダーが飾られ、家庭的で季節が感じられる工夫をしている。		
33	85	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には使い慣れた家具や仏壇が持ち込まれており、その人らしく生活できるように工夫している。		